



2018.  
5月号

社協マスコットキャラクター  
ゆりちゃん（本名：国府ゆり）

# いしおか 社協だより



「美りを祈って」 提供：櫻井 一郎 様（石岡市総社）

**授業料  
無料**

## ひまわり学習塾 塾生募集!! 中学1、2年生の塾生を募集します。

「テスト対策の勉強をしたい」「学習習慣を身に付けたい」など、希望する子どもたちの勉強を指導します。

- ◆開催日時 毎週日曜日 午前9時から正午
- ◆場 所 ふれあいの里石岡ひまわりの館
- ◆募集対象 市内在住の中学1、2年生 ※原則、毎回出席できる方
- ◆教材費 年間3,000円程度かかります
- ◆内 容 教科書に対応した問題集（主に英語・数学）で塾生一人ひとりに合わせて指導します。



**平成30年度入試において受験生全員が県立高校・私立高校に合格しました！**

# 事業計画・予算

## 基本方針

近年の少子高齢化社会と人口減少の進展により地域の活力が失われる中、地域内の住民同士のつながりが希薄になると懸念されます。そのため地域における人と人との関係づくりの再構築、住民相互で支援活動を行うことのできる包括的な体制づくりが重要な課題となっています。また、災害発生時における迅速なボランティアの受入体制の強化など課題も多くなってきています。

このような課題認識のもと、本会では地域で誰もがいきいきと安心して暮らすことができるよう、地域の支えあいと絆づくりを強化し、住民の互助支援活動を組織化することを目的とした事業を新規に実施します。

更に、ボランティア・関係機関や団体等と連携協働を一層強化し、地域福祉の推進に努めてまいります。

## 新規事業紹介



### 1 生活支援体制整備事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の増加に伴い、生活支援ニーズが多様化するなかで既存の介護サービスだけでなく、地域住民が主体となったボランティア等、地域の多様な生活支援サービスを活用しながら、地域全体で高齢者等の生活を支える体制づくりを推進します。地域で高齢者等を支援する関係者の課題解決・情報共有の会議として「協議体」を地区に設置し、地域における取り組みの調整役として「生活支援コーディネーター」を地域ごとに配置します。



### 2 文京区社協との連携・相互協力

東京都文京区と石岡市は、災害時における相互応援協定を締結しており、両社協でも平常時から交流を深め、災害に備えた協力及び支援関係を築き、災害時において相互協力を行う協定を締結します。災害時には迅速に職員派遣や資材の提供等必要な措置を行います。



### 3 読み聞かせスキルアップセミナー

子育て支援の一環として、子育て中の保護者やボランティアを対象に読み聞かせ技術のスキルアップを図るためのセミナーを開催します。



### 4 災害時の調理体験教室

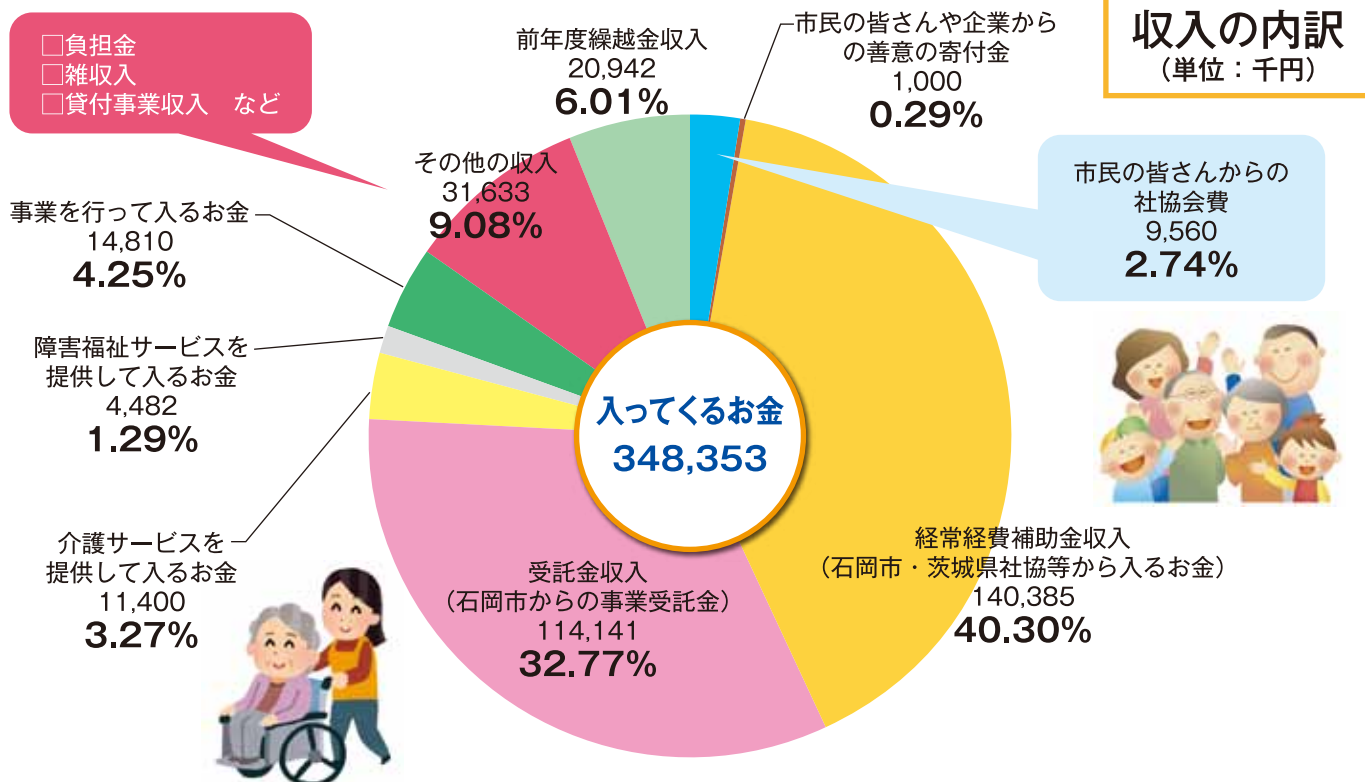
電気・ガス・水道などがストップした災害時でも、家庭にある食材や器具で簡単に料理ができる調理体験教室を開催します。



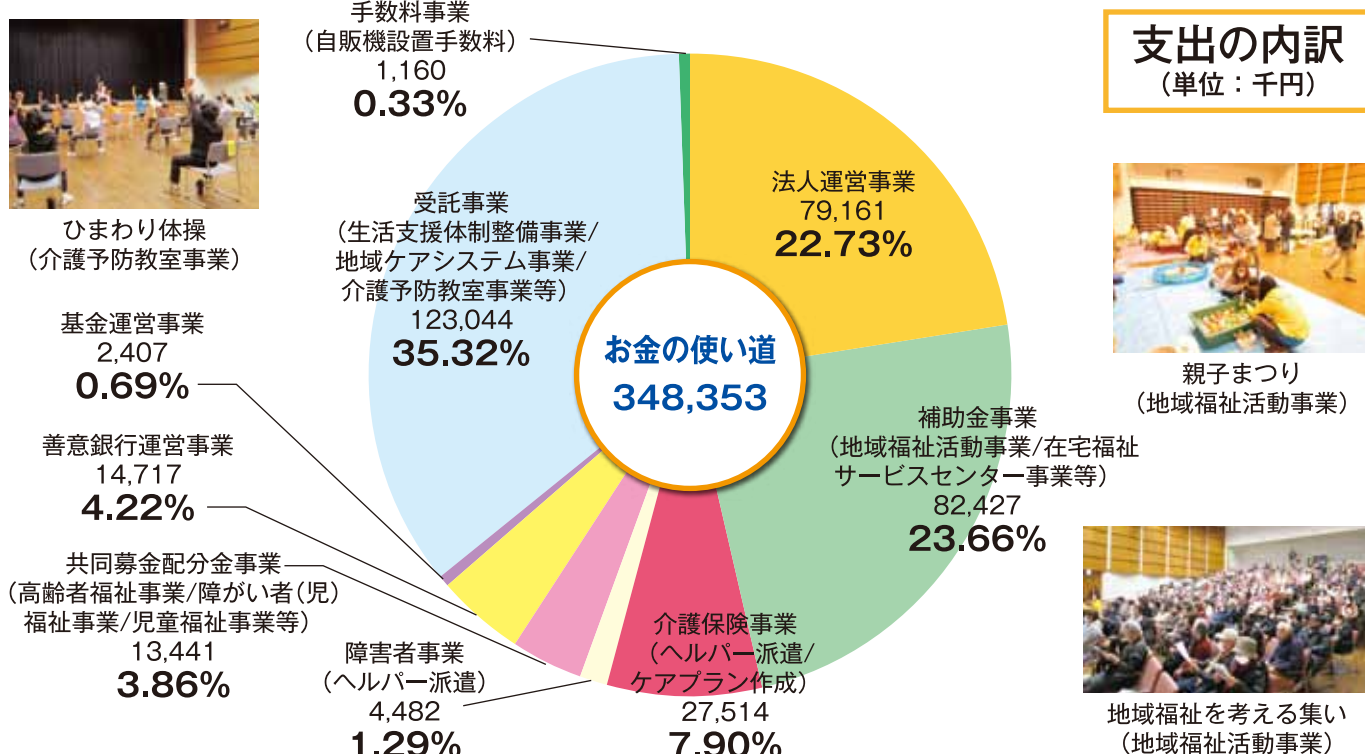


# 平成30年度

## 収支予算



\*\*\*\*\*



1月20日(土) 「第3回

石岡市の地域福祉を考える集い」が開催され、石岡市を明るく活気あふれる街にしていくにはどうしたらよいかについて、高齢者や学生、福祉関係者など9名の方々が、それぞれの立場から意見発表を行いました。3月号で紹介できなかった3名の方々の意見発表をご紹介します。(敬称略)



## 在宅福祉サービスとボランティア

在宅福祉サービスボランティア

大石 喜作



私は、石岡市に住み25年になります。現在、社会福祉協議会の有償移送サービスの仕事をしています。移送サービスとはどんなことかといえますと、病院などに行くのが大変な車イスの人や、酸素吸入をしながらの人や、障がい者などの人達を、私の車で自宅から病院などに送迎することをしています。

やることになったキッカケは定年退職、その後の嘱託が終わり、さて残りの人生をどうしようかと

思ったとき、元々の地元出身ではないし、前職も東京勤務で行っては帰るの生活で、地元の人達との接触が全くない状態でした。じゃーというわけでシルバー人材センターに登録し、勤務先が、ひまわりの館の受付でした。たまたま、目を付けられたのか、そこには社会福祉協議会の本所があり、女性職員から「男性協力員が少ないので、ぜひやってほしい」と熱心に言われ、私も、ここまで来られたのは、たくさんの人達の助けがあつてこられた。少しでもお返しが出来ればいいかなと思つて受けることにしました。ただ、やるからにはキッチリと確実にやろうと3点に気をつけて実施しています。

①依頼者宅、車の出入りが出来るか、また、病院までのコースを事前に確認しておくこと。地図で確認しても、現地を眼で見ると意外と違うことがあります。

②信頼関係を築くこと。上から目線ではなく家族目線で接することで話しかけると普段から話す機会が少ないせい、話し出すと病気のことや家族のこと、いま心配していることなど、実によく話していただきます。中には自宅に帰ってから2時間以上お話しされた方もありました。

③交通事故には絶対に気をつける。病院コースを事前に調べておくことと、時間に余裕を持つことにより精神的にも安全運転を心がけることが出来ます。

以上のことを注意しながら3年余過ぎましたが、「大石さんで安心した」と言われたことはありますが、苦情は1回のみでした。それは、早く着きすぎたとき「まだ化粧ができていないわよ」早すぎると叱られた1回きりでした。

私は、ボランティア活動をするなかで、依頼者か

ら教わることも多くありました。病気に對する姿勢には、私が病気になるたときの生き方として大いに学びました。また、障がい者からは技術的接し方や障がいの対応の仕方を教わることもありました。

終わりに、石岡市では約3割が高齢者だそうです。今後、増加してゆくのは避けられない状況を全て行政というだけでは解決しません。私の地区では子ども達の声はなくなり、お年寄りが家から外に出て来ない静かな状況です。こんな状態で、いま危惧されている直下型地震や南海トラフ地震が起きたらどうなるのかわかりません。自助、共助、公助と言われていますが、初期段階では、共に近所の人達で助け合うしかありません。ボランティア活動はこういった災害も含め重要な力となります。

私は、これからも出来る限り移送サービス活動を続けていきますが、健康でなくては出来ません。健康に留意するのはもちろんですが、皆様の応援もよろしく願います。

## 地域の中でいつまでも

社会福祉法人 泰仁会  
特別養護老人ホーム やさと  
主任介護職員 武川 幸子



私は、石岡市八郷地区にある「特別養護老人ホームやさと」という施設で主任介護職員を行っています。介護職員は入居している高齢者に対し

生活全般にわたって援助するケースワーカーです。具体的には寝たきりや認知症高齢者に対する入浴・排泄・食事・移動などの介護、看護業務の補助、行

事の開催、家族や施設との連携など多岐にわたります。いずれにしても介護を必要としている高齢者一人ひとりに対し、人間の尊厳を重視し、残された生活機能が最後まで活かされ、充実した毎日を過ごすことができるよう自立支援する役割を担っています。

今回テーマにあげた「地域の中でいつまでも」について私が「やさと」で取り組んでいることを紹介いたします。

「やさと」ではグループケアという体制をとっています。グループケアとは、少人数のグループを生活の単位とし、家庭的な環境で生活することで認知症の進行予防・緩和を目指す認知症ケアの形です。現在14名から16名のご利用者様を8名から9名の介護職員でケアしています。10年ほど前までは約60名のご利用者様を20名の介護職員でケアしていました。その頃は日々の介護業務に追われて一人ひとりのケアに目を向けることが十分にいき届いていなかったと思います。グループケアに移行してからはご利用者様と密に接することができ、ご利用者様のニーズにも耳を傾ける事ができるようになりました。私が所属しているグループは、施設での生活が中心の入居者様と、自宅での生活を中心としているショートステイのご利用者様があります。ご利用者様の多くは八郷地区で生まれ育った方や長年過ごされてきた方です。デイサービスとドア1枚で行き来できる環境にあるため入居してからもデイサービスを利用されている近所の方や以前利用していた際に親しくなられた方とも交流が引き続き行えることが私のグループのメリットです。

ショートステイのご利用者様は生活の場が自宅中

心のため、施設の入居者様に比べて外へ出かけたリ、地域の方と交流する機会が多いと思われると思います。しかしそれはごく一部の方であり、ほとんどの方が病院や施設に行く時以外は自宅にいらると、ご利用者様やご家族様からのお話がありました。身体が以前に比べて動けなくなってしまうと、子供たちは仕事や家庭の事で忙しい、高齢者だけの世帯であるためと理由は様々です。出かけたくても出かけられない、そういったご利用者様の声を「やさと」を利用している間だけでも希望に添えるように外出行事・地域のお店を活用しております。外出行事においては「八郷めぐり」と題し、毎月八郷地区にある峰寺山や国民宿舎つくばね等の公共施設を見学したり、ぶどう狩り、イチゴ狩りなどその季節に採れる果物狩りを行っております。地域のお店の活用では近くのスーパーにご利用者様と買い物に行き、その地域の方とのふれあい、時には顔見知りの方に会われて話をされ、それは気分転換につながっているのではないかと思います。ご利用者様からは「地区の集まりで来たことがある」「子供が小さい時に連れてきた」とご利用者様同士話が弾み、後日ご家族様に外出した時の話をされたりと生きる活力にもつながっています。

私を含めグループ内介護職員も八郷地区生まれが多く、ご利用者様と一緒に楽しむことを目標としており、今後も地域の行事・資源を探し、適宜、活用していきたいと思えます。それは「やさと」のご利用者様が地域の中で生活していく上で重要なことだと考えています。地域の中でいつまでも生活出来るよう、これからも支援していきたいと思えます。

## ずうっと住み続けたいまち

石岡市いきいきクラブ連合会

会長 佐藤 芳夫



私は高齢者ですから、昔のことからお話をいたします。

私が、小学校1年の時に支那事変が勃発、我が国は戦時体制に入り、太平洋戦争へ突

入し、昭和20年、連合国軍に無条件降伏をした日中で、「君たちは、国のため、天皇陛下の御為に潔く死ぬ」特攻精神を体に叩き込まれた毎日でした。しかし、戦争末期は連日の本土空襲、ボーイングB29爆撃機の大編隊が、焼夷弾・爆弾の無差別爆撃。機動部隊の艦載機グラマン戦闘機は、夜明けとともに、超低空で機銃掃射の波状攻撃です。石岡は数カ所このグラマンの攻撃を受けました。

戦争は恐ろしい。悲惨。残酷。破壊があるのみ。当時14歳の少年の遠い記憶の中に鮮明に残っています。空襲はなくなったものの、着るものはなく、食べ物がなく、住む家ありません。それでも、さつまいも、じゃがいも、トウモロコシを食べ、復興を目指し、大人も子供もみんな一生懸命に頑張りました。人と人とのつながり、助け合いの絆はとても強かった時代です。

やがて、荒廃から復興への兆しが見え始め、昭和30年代に高度経済成長の進展する中で、福祉六法が整備され、安心して暮らせる平和な世となりました。それから半世紀が過ぎ、超高齢社会の中で、お年寄りの一人暮らしが増え続け、年寄いた親は施設



に入り、将来を担う子供は少ない現状で、行政だけでは支えきれない課題もあります。この解決をするには、地域の人々が、お互いに助け合う地域の力なのです。社会力とも言います。本日の集いの地域福祉とは、この助け合いをいいます。

石岡市は、住み慣れたこの地で子供からお年寄りまで安心して生活できるように、石岡市地域福祉計画を策定してあります。地域福祉の推進役である石岡市社会福祉協議会で、それを石岡市活動計画として、社協の会員である皆様と共に活動を展開していきます。地域の皆さんが、お互いを思いやり、支え合い、助け合い、行政・社協と共に歩むことが、安心して、幸せに暮らせる明るく楽しい街「いしおか」となるのです。

今日の集いのサブタイトルに「みんなで創ろう明るく楽しい街石岡」とあります。これは、地域福祉の究極の目標です。皆さん、人と人とのつながり、助け合いの絆を強くし、ずうっと住み続けたい「まち」石岡を創りましょう。

私、初めに戦争の記憶を話しました。戦後生まれの皆さんが、このままずうっと戦争を知らない世代であってほしいと願っております。



## Topics

### ずっと住み続けたい街づくり講演会

3月3日(土) ふれあいの里石岡ひまわりの館において、「ずっと住み続けたい街づくり講演会」を開催し260名の方々が参加しました。

介護保険制度の改正により平成29年4月から全国でスタートした「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」や地域全体で高齢者の生活を支える体制づくり「生活支援体制整備事業」について、講師の茨城県社会福祉協議会生活支援コーディネーターの高見文男氏より、わかり易く解説していただきました。また、講演の前には、日ごろ地域の高齢者の健康づくりや介護予防推進に活躍されている、石岡市シルバーリハビリ体操指導士会の皆さまより、「シルバーリハビリ体操」の紹介と実演が行われ、参加者の皆さんも楽しみながら体を動かしたりラックスされたようでした。



講話を行う茨城県社会福祉協議会生活支援コーディネーターの高見文男氏

この講演会では、介護を受ける高齢者が増加し、それを支える若い世代が減少する「超高齢化社会」のなかで、「みんなで助け合う街づくり」のために、私たち一人ひとりの力が求められていることを、改めて考えさせられました。



シルバーリハビリ体操の実演の様子



会場を埋め尽くす参加者

### ■「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」と「生活支援体制整備事業」とは?

平成27年度の介護保険制度改正によって、介護予防給付の一部である介護予防訪問介護及び通所介護は、市が地域の実情に応じた取組を行うことができる「介護予防・日常生活支援総合事業」へと移行され、ボランティアなど地域の多様な主体を活用しながら、高齢者を支援していくこととなりました。

石岡市では、地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れるよう、今年4月から「生活支援体制整備事業」を実施し、地域の互助を高め、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めています。



# お知らせコーナー



なごみ

## パステル和アート講座 参加者募集！

美しく温かみのあるパステルを使って描く、穏やかで心和むアートです。  
初心者でも簡単に出来ます。

- 日 時 【第1回】7月5日(木)、【第2回】7月12日(木)  
午前9時30分～正午(作品は1日で仕上がります)
- 場 所 ふれあいの里石岡ひまわりの館
- 講 師 中根 弘子先生
- 参加費 1回300円(材料費)
- 対象者 市内在住の方
- 定 員 各回10名  
定員を超えた場合は抽選になります。
- 申し込み 6月6日(水)までにお電話または窓口でお申し込みください。



※プラチナ応援事業の対象です

## 生活サポーター募集

(在宅福祉サービス協力会員)

高齢者などが安心して日常生活を送れるよう、お手伝いくださる協力会員を募集しています。

- ◆活動内容 生活支援(掃除、洗濯等)、子育て支援、病院や役所等の送迎付き添い
- ◆活動日 月曜～金曜日  
※祝日、12/28～1/5を除く
- ◆活動料金 1時間600円(午前9時～午後5時)  
※時間外(午前7時～9時、午後5時～7時)は1時間900円/交通費別途支払い
- ◆資 格 不問

※プラチナ応援事業の対象です



## もしもし…お元気ですか?/ ふれあい電話訪問利用者募集!!

「ふれあい電話訪問事業」は、ひとり暮らしの高齢者等に対し、ボランティアによる電話訪問を行います。健康状態や日々の様子、生活上の不安などをお聴きしながら、安否確認や孤独感と不安感の解消を図り、安心して暮らしていけるよう支援します。

- 利用できる方 市内在住の概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者等
- 費用：無料
- 実施日：毎月1回



## 心配ごと相談



※予約不要

	石 岡 地 区	八 郷 地 区
実施場所	ふれあいの里石岡ひまわりの館	石岡市農村高齢者センター
実 施 日	6月 1日・15日・29日 7月13日・27日 8月10日・24日 (金曜日)	6月7日・21日 7月5日・19日 8月2日・16日・30日 (木曜日)
実施時間	13:00～15:00 (受付:14:30まで)	13:00～15:00 (受付:14:30まで)

## 金 銭 の 部

土浦友の会	5,000円
石岡市八郷商工会女性部	10,000円
匿名	7,200円
社会福祉法人常陸青山会	20,000円
1ヶ月1分のお仕事を教える会 関 健司	8,385円
常陸デジカメクラブ一同	3,152円
ダンシングスタジオUENO 上野 修一	20,000円
石岡市ボランティア連絡協議会	30,000円
匿名	30,000円
匿名	2,000円
石岡市立柿岡小学校4年生	5,600円
小幡地区公民館主催ゴルフ大会	13,500円
国府地区公民館まつりバザー収益金 つた芸・エコクラフト同好会	13,000円
中央公民館後期講座 道の歴史を学ぶ講座	11円

## 物 品 の 部

匿名	食糧	
	飲料水	2袋
	調味料	
匿名	玄米	30kg
	サラダ油	3本
カーブス石岡杉並店	食糧（調味料・乾麺・菓子類）	18箱
パーラーデルジャン小美玉店	お菓子	1箱
i・マリッジスクエア	食糧	1袋
パールショップともえ石岡店	お菓子	2箱
パーラーデルジャン石岡店	お菓子	2箱
匿名	プラチナ応援券（500円券）	8枚
匿名	玄米	90kg

## 使用済・未使用切手

- ◆石岡市立小桜小学校 ◆株式会社松永工務店 ◆土浦民主高工会石岡支部女性部 ◆光風荘 ◆ツムラ石岡センター  
◆退職公務員連盟石新支部 ◆協栄線材株式会社 ◆志筑屋 ◆ミスタータイヤマンオオツカ ◆有限会社クボタ建築設計事務所



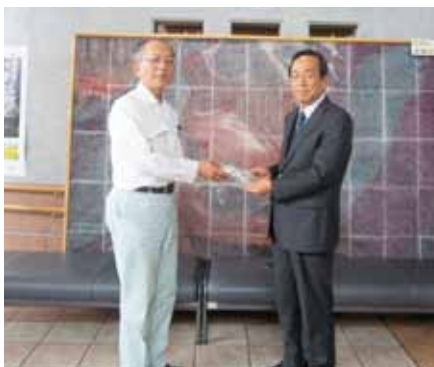
ダンシングスタジオUENO上野修一 様



カーブス石岡杉並店 様



社会福祉法人常陸青山会 様



協栄線材株式会社 様

## 善意銀行 感謝の報告

心温まるお気持ちをお寄せいただきまして、誠にありがとうございます。  
お預かりしました善意は、地域福祉の向上のために活用させていただきます。

平成30年2月1日～平成30年3月31日まで（順不同・敬称略）

問い合わせ・申し込み  
（土、日、祝日を除く）

### 本 所

〒315-0009  
茨城県石岡市大砂10527番地6  
ふれあいの里石岡ひまわりの館内  
T E L 0299 (22) 2411(代)  
F A X 0299 (22) 2440  
E-mail : shakyou@atlas.plala.or.jp



## 社会福祉法人 石岡市社会福祉協議会

### 八郷支所

〒315-0116  
茨城県石岡市柿岡2155番地  
石岡市農村高齢者センター内  
T E L 0299 (36) 4311  
F A X 0299 (36) 4312  
E-mail : ishishakyo.yasato@orange.plala.or.jp

